

日本特殊陶業(株)

鹿児島宮之城工場操業30周年

本町田原に立地されている日本特殊陶業(株)鹿児島宮之城工場が、操業30周年を迎えられました。

本工場は、自動車プラグ製造工場として昭和49年に進出されて以来、順調な経営拡張がなされ、最近では平成11年の絶縁体工場、平成13年の同工場の増設により、宮之城工場での一貫生産体制が更に進み、スパークプラグ製造の単一工場としては、世界一の製造を誇るまでになっています。また、NGKスパークプラグは今では国内の全自動車メーカー及びエンジンメーカーに採用されるとともに、世界140数カ国に輸出されており、正に名実ともに世界一のプラグ企業としての地位を不動のものとされています。

宮之城工場が立地されたことにより、本町の産業の高度化と工業の振興が図られたことはもとより、当地域の雇用機会の増大による定住促進や町民所得の向上などにより、地域の活性化に大きく寄与されています。

このようなことから本町では、宮之城工場操業30周年に対し、5月14日町長室において、記念品の贈呈を行いました。

また、日本特殊陶業(株)からは本町に300万円寄付があり、屋地楽習館図書室の図書整備とかぐや姫グラウンドの得点板が設置される予定です。



30周年を祝い記念撮影



記念品を贈呈する北村町長

6月12日、JR鹿児島中央駅で「かぐや姫」による観光PRを行いました。これは、同駅内のステーションプラザで8日から14日まで行った本町物産展のPRと観光キャンペーンの一環として行ったものです。

乗降客の方々は、かぐや姫の突然の登場にびっくりされながら、配布した観光パンフレットと菜箸を手にして話しかけたり、記念写真を撮影されたりしていました。

また、物産展も竹製品や漬物、野菜など人気がありました。この物産展は年3回ほど行っており、次は10月下旬に行う予定です。

中央駅でPR



かぐや姫の登場にみんなびっくり

農業体験学習

総合的な学習の時間の中で、町内2校の中学1年生が農業体験学習を行いました。

山崎中学校(23人)は、6月3日にブドウ園で袋がけを、宮之城中学校(113人)は6月18日に田植えや花き、トマト、なしなどの農家(23カ所)で農作業に挑戦しました。

生徒たちは、厳しい暑さの中、農業の楽しさや大変さ、商品になるまでの作業過程を知ることができ、大変有意義な一日になりました。

これを機に、多くの子どもたちが本町の農業に関心を持ってほしいものです。



慎重に「なし」に袋をかける生徒たち

